

「夏休みは本を」

いよいよ夏休みです。保護者の皆さま、この一学期間において本校への多大なるご理解とご協力、まことにありがとうございました。

毎年夏休み前に、生徒たちは「夏休みのしおり」に目標を書き込みます。ぜひその目標をご覧になっていただき、生徒たちが無事達成できるよう、ご支援とご協力をお願いします。

生徒の皆さん、その目標の中に一つ、私がぜひ盛り込んでほしいことがあります。「この夏は〇〇冊、本を読む」「この夏は××シリーズを全巻××冊読破する」「一日△△ページ毎日読書する」等、読書に関する目標を一つ追加してください。(数字が入っていると目標が明確になるのでおすすめです)

本を読むことは、自分とは別の人生を体験すること、自分とは別の考え方見方を知ること、知識を得ることです。

自分の中に、本の中のキャラクターという「自分の人生の伴走者」を得ることです。生徒の皆さんの中には、もう見つかっている人もいるかもしれません。でも、まだ見つかっていない人もたくさんいるのではないのでしょうか。たくさんの本を読まない「人生の伴走者」はなかなか見つからないかもしれません。

私事ですが、私の12歳の母からの誕生日プレゼントは、「赤毛のアン」でした。2014年NHK朝の連作テレビ小説「花子とアン」のモデルになった、村岡花子訳のハードカバー全10冊です。6月生まれの私は、中学校1年生の夏休みは、ずっと「赤毛のアン」と一緒だったな、とあれからずいぶん時を経た今でもよく思い出します。アンは長じて学校の先生になりました。アンを読み終えて数年後、私も同じ教育の道をたどることとなり、アンとの縁を感じます。モンゴメリーさんが生んだ架空の人物であるアンは、今でも時々私の心の中で、相談にのってくれたり、クスリと笑わせてくれたり、力づけてくれたりしています。

生徒の皆さんも、「お前は正しい」「よく頑張っているな」「そういう時、私ならこうするな」なんて言ってくれる本の中の友達をたくさん見つけてください。

長い夏休み、生徒の皆さんはどんな目標を立てますか。

中学3年生の夏は読書どころではない、と言うかもしれませんが、そういう時こそ気分転換は読書です。2年生は2学期にビブリオバトルを実施するそうです。バトルできる本をしっかり準備しておいてください。1年生は読書感想文が夏休みの宿題です。「読書感想文のための読書」になりませんように…。I組の皆さんは、今年度も読書賞受賞を目指してたくさん本に触れてくださいね。

図書室は夏休みも開館しています。(別途図書便り参照)

世界には戦争や飢餓などで本など読めない環境にいる子供たちもたくさんいます。そういった世界を教えられ、考えさせてくれるのも本です。自分たちが「本を読むことのできる安全で平和な環境」にいることにも感謝してほしいな、と私は思います。

さて、9月2日に、元気に「夏休みの報告」を皆から聞けることを楽しみにしています。

よい夏休みを！

文責 副校長 久住直子